



「Apple」や
「dyson」のような

一人乗り電_子自動車メーカー

SCOO CAR



バイクでもスクーターでもないHONDAの「スーパーカブ」のように、機能美を追及したデザインの「Apple」や「dyson」のような、スクーターでもクルマでもない「一人乗り電_子自動車・SCOO CAR」(スクーカー)で、世界制覇を目指します！！

クリエイティブ ディレクター 小崎 秀人

(電_子自動車による公道走行距離、日本一?)

CONCEPT

SCOOCAR

乗り物の原点は、
「走る悦び」

一人乗り電子自動車「SCOOCAR」(スクーカー)は、CO2削減が叫ばれる今、勿論、モーター&バッテリー駆動ですが、エコカーとしての魅力以上に「乗り物」としての「走る悦び」があります。

「静か」さは勿論、「微振動のない」加速。
インホイールモーター、低重心&センターバッテリー効果によるオン・ザ・レールなコーナリング。

20世紀自動車普及の起爆剤となった「T型フォード」の魅力は、「移動する便利さ」以上に「走る悦び」だったと言われています。

100年後の今、特にわが国では「移動する便利さ」だけを追求した結果、クルマの魅力が薄れ「クルマ離れ」が起きています。

今、最高速度55km/h、エアコンもヒーターも無い、一人しか乗れない、スクーターとクルマの中間車「SCOOCAR」は、「CO2ゼロの走る悦び」で21世紀の電気自動車普及の起爆剤となります。

モータースポーツ歴40年を省みる **排出量取引事業** **SCOO CAR**



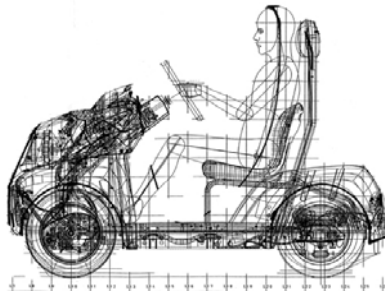
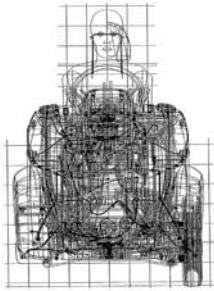
「Emission Trading EV」(排出量取引電子自動車)は、自らのモトクロス、ジムカーナ、フォーミュラなどのレーサー経験。富士 GC、鈴鹿 F2、全日本 GT レースなどのプロフェッショナルレーシングチームオーナー(RACING MATE PROJECT TEAM)。J・スチュワート、A・プロスト、生沢 徹氏などとのビジネス(NOMEX、POLE TO FINISH)。「ポケットバイク」「乗れるチョロ Q」など話題の乗り物の創出等、数々のクルマの新しいライフスタイルを創出し、業界に変革をもたらしてきた小崎が、「地球温暖化」の今、経験と実績を省み「モータースポーツ歴40年の排出量取引」を事業化するものです。



3 m³ EV

Emission Trading

SCOO CAR



「電気自動車」より一歩進んだ「イン ホイール モーター」の電気自動車を「電子自動車」。一人乗り、3立方メートルサイズを「SCOO CAR」(スクーカー)と呼びます。日本の車両法では「原付ミニカー」ナンバーで車庫証明、車検、ヘルメット不要。道交法では「普通運転免許」で乗れ、最高速度55km/h(当社)までOKです。家庭用100Vプラグインの8時間充電で約30km走行(1km=約2円)できます。スクーカーは、クルマとスクーターの中間車としての機能を徹底追及した、斬新なデザインにより「見られる喜び」と「走る喜び」が味わえる「排出量取引EV」です。



小崎秀人の主な「一人乗り電子自動車」開発実績

- * 旧アラコ(現トヨタ車体)COMSスポーツタイプの共同開発
- * 旧タカラ(現タカラトミー)「乗れるチョロQ」の企画、開発
- * 東京電力(EVプロジェクト)「ECOVERY」の企画、開発
- * パーク24、リコーテクノ(カーシェアリング)の企画、開発
- * 東京オートサロン(02、03年)コンセプトカー部門優秀賞受賞
- * 環境啓発宣伝カー「WRAPPIN!!」国や東京都の公共広告、一流企業30社PR走行
- * フリーラン(総合デリバリー)CO2ゼロデリバリー「エコぶ!!」の企画、開発

C U S T O M M A D E

30km圏内ライフスタイル「SCOOCARコンセプト20」に基づき、1台1台、使用目的に応じたカスタムメイドでお届けします。(写真は小崎が開発し話題となったスクーター)



3 m³ EV

Emission Trading

SCOO CAR

ペットなエミッショントレーディングEV

一人乗り電子自動車「SCOO CAR」は、30km圏内に割り切った、クルマとスクーターの中間車です。安全なスクーターとも言えます。発売の初期段階では、実績あるベース車両(基本的にTOYOTA車体のCOMSを採用)を基に1台1台カスタムメイドでお届けします。**世界に1台の自分のクルマが創れます**。勿論、ヒーターやエアコンなどありません。「排出量取引EV」として業務用以外は、**天気のいい日にオシャレをして駆るペットな乗り物**です。注目度が高く、ドライバーが良く見えますので、オシャレのし甲斐もあります。身体と一体化しますので「着るクルマ」とも言えます。**思い切りオシャレして乗るクルマ**です。

納車までのステップ 一緒に製作にご参加いただけます。

「一人乗り自動車」は、「原付ミニカー」ナンバーのため車検が無いので比較的カスタマイズが自由です。但しその分、より以上の安全性が求められます。**当社独自の安全基準と順法**でお届けします。

1. ベース車購入(程度のいい中古の車両なども探します)
2. イメージ(使用目的と好みのデザインをお聞きします)
3. ラフスケッチ(お聞きしたイメージでデザインします)
4. お見積もり(予算に応じて1台1台カスタマイズします)
5. シートポジション(洋服の仮縫い同様、重要です)
6. 納車(製作期間中、一緒に参加していただいても結構です)

費用の目安 世界に1台しかない自分だけのペットカーです。

- * 新車でFRPなどのフルボディの場合 約300万円～
- * 新車でアルミなどの板金ボディの場合 約200万円～
- * 新車で市販のパーツ利用の場合 約150万円～
- * 中古で市販のパーツ利用の場合 約100万円～
- * 仲間などとの同時製作で台数が増えれば1台あたりのコストが下がります。